

県労連 あおもり

2016年12月5日 第315号

発行所 青森県労働組合総連合(青森県労連)
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234
発行人 青森県労働組合総連合(毎月5日発行) 定価 10円
1992年10月30日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

自衛隊を南スーダンに派遣させない! — 青森空港で抗議行動 —



青森空港前行動に秋田県も含めて75名参加

16年平和大会青森県実行委員会は、11月20日8時30分から青森空港前で「南スーダンに自衛隊を送るな・いのちを守れ」の抗議行動を行い、青森市内や弘前市、むつ市、秋田県からも7名が駆け付け、75名が参加しました。
集会は、奥村榮副実行委員長が「南スーダン派遣は今までの日本のあり方が根本的に変わる。駆け付け警護で自衛隊員が命を落とす危険にさらされる。派兵反対の声を上げ続けよう」と挨拶。青森ママの会の坂本さん、秋田県平和委員会の風間さんが挨拶しました。
この日、自衛隊員やその家族を乗せたバスが次々と空港に到着し、私たちはそのたびに「自衛隊を南スーダンに送るな!」「自衛隊員のいのちを守れ」と唱和し声をあげました。派兵される第一陣130名の隊員が、赤ちゃんを抱いて奥さんが涙ぐんで見送っている姿がマスコミで報道されました。
10月22・23日の三沢での平和大会、10・30南スーダンに自衛隊を送るな青森集会、そして今度の抗議行動と、戦争法の廃止、自衛隊を南にスーダンに送るな、9条守れと、青森県民のたかひは続いています。私たちは今こそ、戦争への危険な道を止める運動を、各団体と共同で一層広げる必要があります。
(県平和委員会事務局長・大宮慶作)

原発再稼働ストップ どっしりする核のゴミ

11月26・27日、岩手県で「原発再稼働STOP! どうする核のゴミ! 全国交流集会in岩手」が開催されました。1日目は、「日本一のクリーンエネルギーの町」「日本一の公共牧場」で有名な葛巻町を訪問、町としての取組みを学習しました。講演と施設の案内は、中村哲男町長です。葛巻町は、岩手県北部に位置し町の86%が森林で、人口6800人の過疎地で



高橋議員と共に参院野党共闘で当選した木戸口議員も参加



講演する再生可能エネルギーの葛巻町の中村前町長

す。基幹産業は酪農と林業で、30年前から山ブドウを主体としたワインづくりを始め、18年前から再生可能エネルギーに取り組み、風力発電、太陽光発電、糞尿バイオマス発電、木質バイオマス発電に力を入れ、電力自給率は170%に達しています。学校など全ての公共施設に太陽光発電と蓄電池を設置、東日本大震災時にその威力を発揮したことです。原発に頼らな

い社会と地域再生の手がかりがあります。
2日目は会場を盛岡市に移して開催され、12道県から272名、青森県から20名が参加しました。全国交流集会が岩手県で開催されたのは、高レベル放射性廃



憲法公布日の憲法講演会

文化の日の11月3日、県文化の会主催の「憲法講演会」が開催され、県内から99名が参加しました。
講師は、山内敏弘・一橋大学名誉教授で「歴史的岐路に立つ平和憲法―緊急事態条項導入論と9条改憲論

憲法否定の 自民党改憲草案

を問う」と題して講演しました。山内氏は憲法審査会を再開、公明党・維新の会の改憲勢力とともに自民党改憲草案をベースに改憲論議を本格化するという狙いを指摘しました。

また、改憲草案は、①「公共の福祉」から「公益及び公の秩序」に改変、基本的な人権の抑制、②「国家権力を縛る憲法」から「国民を縛る憲法」へ、③緊急事態条項の導入、④9条改悪・国防軍の創設、にあることを強調、この改憲策動を阻止するため市民運動と労働運動、野党共闘の連帯が不可欠であると指摘しました。
改憲阻止のため衆院選挙での野党共闘の重要性をお互いに確認しました。

何かをするには、エネルギーが必要だ。その人間のエネルギーはどこから生まれてくるのだろうか。たとえば、旅行が好きなのは、旅行した後に、酒が好きな人は、酒を飲むとそのエネルギーを補給できるかもしれない。読書、スポーツ、音楽鑑賞、ドライブなど、人の心を癒やしてくれることはたくさんある。逆に、これらが嫌いな人にはこれらに付き合わされることは重荷になり、やっかいだ。その人なりのエネルギー補給が何か必要だ。
組合活動で癒やされている人はいるのだろうか。組合活動で前進があったときは、やりがいを感じるし、癒やされることもある。しかし、総じて組合活動は重い。その責任は心に重くのしかかり、義務感や人を押しつぶしそうになる。組合活動だけやっている人で、元氣な人はあまり見かけない。社会の問題は山積みで、組合の課題は多い。時間は限られている。しかし、自分の人生を謳歌するために、楽しさと、満足の両方が必要のようだ。忙しい中でも、自分のエネルギー補給を怠らず、活動を続けることが組合活動の秘訣かもしれない。あまり真面目になりすぎず、世の中を悲観しすぎず、物事を明るく見通せる人間になりたいと思っているが、なかなか難しい。
(多夢)

アメリカ撤退しても TPP 批准するの？

11月23日、青森市文化会館で「食と農を守る青森の会」の第22回定期総会が開催され約40名が参加しました。

総会に先立って、大竹進・県保険医協会顧問が「甘利君が交渉したTPPは闇の中」と題して講演しました。大竹氏は、バニ-

サンダースの「多国籍企業が私たちのお金で、利益を増大させようとしている」、ジョセフ・E・ステイングリッチの「TPPは99%の国民を犠牲にする」との発言を紹介、トランプ次期大統領はTPPからの離脱を言明していることで、安倍首相が批准を国会で強行しようとしていることを痛烈に批判しました。また合意された協定文では、米・麦・牛肉などの重要5品目の3割が「聖域」を守れなかったこと、りんごや畑作物も大きな影響を受けること、混合診療の拡大で医療保険制度が形骸化すること

を指摘しました。総会では、須藤事務局長が議案を提案、質疑討論後、活動方針案と役員として神田健策(弘前大学名誉教授)、今正則(県労連副議長)など8名の代表世話人を確認しました。その後、農民連の手作り料理で懇親を深めました。

講演する大竹進さん



「電通」の悲劇を 繰りかえすな!

広告大手の電通で入社1年目の女性労働者の過労自殺が労災認定されたことを受け、企業の社会的責任が問われています。月1000時間を超える残業していたにもかかわらず、36協定の範囲内となる60時間以内に改定した勤務報告を提出させていました。11月28日の街頭宣伝では、「身内を過労死になる直前で呼び戻

した」と言う方が署名してくれました。野党4党は、11月15日に長時間労働規制法案を国会に提出しました。それは、①残業時間の上限規制、②勤務間のインターバル規制の導入、③週休制の確保、④事業場外みなし労働時間の明確化、⑤裁量労働制の要件の厳格化、⑥内容をとする実効性のある規制法案となっています。

しかし、自公政権は、残業代がゼロになる「高度プロフェッショナル制度」を柱とする「労働基準法等の一部を改正する法律案」を昨年4月に国会上程しており、過労死促進法と言われています。長時間労働が社会問題として取り上げられており、長時間労働を規制するためには、4野党の長時間労働規制法案の成立が不可欠です。



寒い中での月2回の街宣

県社保協自治体キャラバン

県社会保険推進協議会(県社保協)は11月に全自治体を対象にキャラバンを実施しました。政府は、社会保障制度の全面改善をすすめています。「医療の75歳以上の窓口負担を1割から2割へ」「要介護1・2の保険給付はすし」「年金の支給開始年齢引き上げ」「生活保護費の減額」などが狙われています。

県労連と保険医協会は下むつ市との懇談



北地区を担当、むつ市と東通村、六ヶ所村と懇談しました。下北の全自治体が中学校まで医療費無料、国保税滞納のため差押え金額が大きいことが特徴です。

「ろうきん」のカードなら
ATMお引き出し手数料
全額即時キャッシュバック!
実質 **0**円

東北労働金庫青森県本部 青森市本町3丁目3-11 ☎017(777)6165

日本平和大会

に参加してきました。日本は米軍に守られているという人にはむしる戦争に巻き込まれる危険が大だということをお知らせしたいものです。(久保田栄美・県教組)

馬肥ゆる秋!

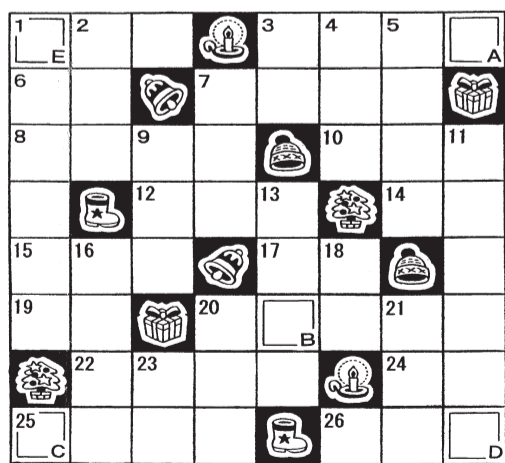
馬だけではなくありません! 果物のおいしい秋! 新米! 食欲が増すいっぽうです。スポーツの秋も取り入れなければ!。(三上ひろみ・ひだまり)

私は82歳

になります。最近友人・知人から「身体が一回り小さくなったね」と言われるようになった。老齢の所為だと思っていますが、な

第313回 クロスワードパズル

ザクろスワード



- ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いて下さい。余白に職場の様子や最近の出来事などを、ぜひお寄せ下さい。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。
- 締切 11月15日
 - 発表 12月号
 - 宛先 〒0300-0852 青森市大野字若宮165-119。FAX、メールは欄外に表記。
- 「第313回クロスワードパズル」係まで。
【ヨコの力ギ】
- ユズ湯に入ります。
 - 来年からは5人それぞれソロ活動?
 - 寒い朝に見られます
 - サンタさんの出入り口
 - 饅頭。…歌合戦。
 - …の場を求めて休息
 - 野心。…をいなく
 - 中国の王朝の一つです
 - もともになる材料
 - 冬ごもりをします
 - 洋酒の酒場
 - 「曆」のことです
 - 芭蕉の句「…をあつめて早し最上川」
 - 漢詩「国破れて山河あり
- …の作者
②5 ムダ使いはダメ
③防寒用…ジャケット
【タテの力ギ】
- 大みそかの夜に食べます
 - 鳥の羽の…ぶとん
 - 昔話「…法師」
 - 江戸時代の火消しの組の目じるし
 - 漫才でボケ役の相棒
 - あばたも…
 - 「遅い」の反対語
 - 室内用の通話装置。
 - 高木ブーさんが得意
 - 中国料理にあう漬物
 - 千の10倍
 - 草花を植えた一区画
 - 独裁政権は…すべきです
 - 木の中心部分
 - 第311回の答えと当選者
 - 《答え》ウマコユル
 - 《当選者》11通の応募で10通正解でした。当選者は次の方々です。

鈴木健二氏

んとなく気がかりになっていきます(岡本猛・年金者組合)。80代後半、相変わらずのマシンガントークでした。しかも1時間半立ちっぱなし。すごい人です。(下山智裕・弘大職組)

未組合員の女性

からパワハラ相談がありました。医師から組合に相談したい(今晴美・ひだまり)

いつも県労連

あおもりを讀ませてもらっています。なるほどいつも関心が深まります。(中村友是・私教連)